

第71回東葛しぜん観察会

緑いっぱいの谷津をウォッチング

龍門海行（柏市）

日 時：2011年6月5日（日）9時30分～12時15分 天気：晴

場 所：岡発戸・都部谷津ミュージアム（我孫子市）

参加者：一般 23名 指導員 13名 合計 36名

担当指導員：高野満里子・鈴木俊二・龍門海行

成田線東我孫子駅集合の10時にはほぼ予定の参加者が揃い、フィールドへ向かい出発した。東我孫子駅では他のクモの観察会グループと集合時間帯が同じとなり、多少混雑し一部の参加者が間違えて他の観察会に一時的に行ってしまった場面もあった。フィールドは、ゴルフ場では名門の我孫子ゴルフのコースにほぼ隣接した谷津である。動植物等の種類も我孫子市全体（約4500種）の約50%（約2400種）、面積的には我孫子市の約1%（約37ha）の地理的条件下にある所であり、面積の割には動植物の多い価値ある谷津である。

谷津ミュージアム入口付近にて、フィールドの概要説明、見所等を案内し、軽い体操をした後に参加者を3班に分けて出発した。調査や直前下見の時にも頻繁に鳴いていたキジが、今日も参加者一同を歓迎するかのように時折鳴き、時々オス、メスの姿が見られた。その上、谷津でのウグイスの初鳴きが盛んに聞こえ、また、解散場所付近のヨシ原からはオオヨシキリの鳴声が聞こえ、参加者も耳と目を凝らしてその姿を追っていた。また、シュレーゲルアオガエル等の姿も見られた。その他、2～3年前まではカヤが生えていた所にはカヤネズミ（日本で一番小さいネズミ、体長6～7cm、500円玉1枚位の重さ）が生息していたことを、参考写真にて説明。

花や実としては、ウツギのおしべが長短に配置されている事、スイカズラの蜜のほのかな甘さ、クワの実（管理者の採取許可済み）の甘さ等を体感してもらった。下見時には発見できなかったショウブの花を見つけ、参加者と共にじっくりと観察した。

今回は東京方面からの参加者が5～6名いたのは、読売新聞の関東版をご覧になり参加したとの事。反省点としては、解散時にトイレ等の案内に気を取られアンケートなり感想を聞くのを失念してしまった事である。又、集合場所とは違う所での解散となり、バス停等のご案内（配布資料には明記あり）にごたついた点である。

